

市長の施政方針 に対する

代表質問

3月定例会では、市長が平成24年度予算でどのような事業を行うのかという施政方針を説明し、それに対し各党派の代表が質問を行いました。

生活道路改良、道路改修事業、鴻巣駅東口A地区再開発の保留床活用は みどりの会

問 市民生活道路の大幅改修事業に、積極的な合併特例債の活用は。

答 生活道路改修事業では、防災上の観点から支障となるような狭あい道路の拡幅や交通安全、渋滞の緩和対策のための幹線道路の拡幅整備、道路排水設備が未整備な道路や未舗装の路線の改良工事のほか、道路改修工事も行います。平成24年度は、5億2300万円を計上、合併特例債などを積極的に活用し、誰もが安心して快適に利用できる道路交通環境の充実に努めます。

問 鴻巣駅A地区再開発事業の保留床に国、県の出先機関及び市民の福祉施設などの活用は。

答 ①市民活動団体の活動拠点として、「(仮称)市民活動サポートセンター」②男女共同参画推進団体の拠点として、「男女共同参画推進コーナー」③国、県などの出先機関として国のハローワーク機能のうち就労支援に特化した「(仮称)就労支援センター」を誘致し、市で行っている「障がい者就労支援センター」と合わせて整備④現在、図書館に併設されている行政サービスコーナーを移設⑤県からの権限移譲を受けて「仮

必要性についてどのように考えているのか。

答 まちづくりの主役は市民です。「ふるさと鴻巣」への愛着と誇りをもっていただくとともに、後世の世代に鴻巣市の歴史や成り立ちを語り継ぐ機会とし、将来のまちづくりを考えていただく節目の日として市民の日を定めてまいりたいと考えています。

問 鴻巣駅東口再開発事業の終結に向けた基本的な考え方は。

答 再開発組合は保留床を処分することで、債務を返済し、組合解散の許可を得て、事業を終結することから、鴻巣市として再開発組合からの支援要請を受けたものです。今までの投資額は、合計で55億円です。鴻巣市はアネックスビルの3階と4階の一部(6ホール)を取得し、「(仮称)市民活動サポートセンター」及び付帯施設として活用します。(株)エルミ鴻巣は、エルミの3階の一部と4階、

アネックスビル2階の一部と4階の一部(3ホール)を取得し、市民要望の強い映画館の復活を目指します。

問 居宅介護サービス供給体制の充実等についての考えは。

答 現在市内の地域密着型サービス事業所が14カ所、居宅介護サービスの事業所は53カ所となっています。平成24年度からは、新たに夜間の定期的な巡回訪問、または随時通報を受けて行う「夜間対応型訪問介護」の事業を開始します。居宅介護サービスについては、本年4月1日から「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」、「複合型サービス」が創設されます。これにより必要な時に、必要なサービスが受けられる体制の整備を図ります。

問 吹上複合施設・川里生涯学習施設の整備状況は。

答 吹上複合施設は6月議会で、川里生涯学習施設は9月議会で承認後、工事着手予定です。

新ごみ処理施設の市構想の策定を 鴻巣フロンティア

問 市長は、新ごみ処理施設の建設は3市1町による広域で行う方針ですが、関係自治体との協議に向けての本市の構想を伺う。

答 埼玉中部環境保全組合では、平成23年1月より「新施設建設検討委員会」を組織し協議をしています。同委員会では、埼玉中部環境保全組合を中心に行田市を含めた11市町村による広域化も検討しています。しかし、鴻巣においては「同組合を構成する2市1町に行田市を加えた3市1町での広域化が最善である」と申し入れましたが、現在結論は出ていません。新ごみ処理施設は、ごみ焼却施設のみならず、粗大ごみ、不燃ごみや資源ごみまでも中間処理する、リサイクル施設の併設も検討が必要で、ごみの適正処理、効率的処分を前提とした県の第2次ごみ処理計画との整合性を保ちながら、さらなる調査検討を深め、建設に向け十分検討します。

人間ドック助成制度 鴻巣市就労支援センター かいえんたい

問 病気の発症を未然に防ぐとともに、早期発見・早期治療に有効な人間ドック検査料助成事業において、新たに市外の医療機関も対象とする事業について伺う。

答 従来は、市指定の医療機関に限定されていましたが、鴻巣市医師会の理解をいただき、市外の機関での受診もその対象とし、制度の拡大を図ります。24年4月から35歳以上の国保及び後期高齢者制度加入者が受診した場合、検査結果を市の窓口申請すれば、後日、検査料の7割(上限2万6000円)を償還します。

問 長引く経済不況は、市民生活や市の財政にも多大な影響を及ぼしています。それらを解消するための施策としての就労支援センター設置について伺う。

答 県内では志木市、秩父市、所沢市、川口市、さいたま市の5市が開

称「鴻巣市パスポートセンター」を整備します。

市民を守る防災対策の強化 安心・安全・健康をどう守るか 公明党

問 地域防災計画の見直しの視点は。 **答** 帰宅困難者対策、備蓄物資の見直し、放射能汚染対策、避難所の設置・運営、災害対策本部体制の5点を中心に見直します。災害時に迅速な対応ができるよう情報の収集伝達とその一元化・共有化の流れ、時間の経過と共に行うべき災害活動を整理し、民間事業者との応援協定による備蓄物資の整備を進めます。地域の特性に合わせ、意見要望を反映します。

問 健康づくり事業の具体策は。

答 健康づくりや介護予防に重要な食生活の改善・運動について総合的な実践と評価を行う組織編成を目指します。また、疾病・医療費の特徴分析に基づき、循環器系疾患の早期発見と予防に重点を置き、胃がん・肺がんの個別検診を検討します。

問 生活道路整備・維持管理計画は。 **答** 道路等整備箇所評価実施要綱に基づき、優先度を決定し順次整備をしています。災害時緊急車両の通行等にも対応すべく、狭あい道路の安

設をしています。本市では、鴻巣駅東口アネックスビル3階に新設します。県が行う職業相談、職業紹介サービスを市と一体的に実施していきます。駐車場も確保されていることから市内のみならず、広く市外からの利用も見込まれます。

問 合併特例債事業による鴻巣・吹上・川里の一体性の確立と均衡ある発展とあるが、満足度による均衡こそが真の一体性につながるのでは。

答 現在、上谷総合公園、荒川総合運動公園、川里中央公園の整備、さらに吹上地域、川里地域では、生涯学習施設を中心とした複合施設の整備が進められており、合併特例債を効率的、効果的に活用し、今後も三地域の事業に取り組んでまいります。

問 秩序ある土地利用の推進で中核医療施設となると、農業振興地域の農用地除外等の高いハードルがあるのではないかと。鴻巣市女性議会で答弁した200床のベッド数は確保できるか。

答 小児二次救急に対応でき、将来的には周産期医療に対応できることなどの要件を付しており、どの民間